

准教授 池島 祥文

大学院国際社会科学研究院 国際社会科学部門 経済学部 経済学科 地域実践教育研究センター ikejima@ynu.ac.jp

農学 社会経済農学

社会・開発農学

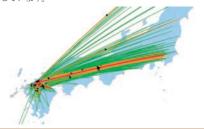
都市農業 地産地消 GIS (地理情報システム) 地域経済循環 企業ビッグデータ

[研究概要]

地域農業や地域経済に関する研究を進めています。近年では、農業が地域の豊かな生活環境や地域での 経済循環に果たす役割について着目し、都市農業における地産地消の実態から、その経済効果や経済循環の 空間的展開などを分析しています。また、地域経済循環の可視化にも取り組んでおり、経済取引を通じた資金の 域外への流出、域内への流入を定量的に把握するモデルの開発を試みています。各地域が具体的に、どの市町 村・都道府県(に立地する企業)と経済的な取引を展開しているのか、どこへの資金流出が多いのかどうかを明 らかにしようとしています。

[アドバンテージ]

生産者と消費者のつながりを空間データとして取り扱い、 GIS(地理情報システム)を用いて、近接性や取引ネットワー クを可視化させることで、より実態に即した分析を可能とし ています。また、地域経済循環の可視化においては、独自な データセット構築を通じたモデルの開発や、企業ビッグデー タ((株)帝国データバンクとの共同研究)を用いて、より精緻 な地域間での経済取引を反映させた分析に取り組んでいま す。これまで十分明らかにされてこなかった地域経済の動 向がより具体的に、より可視的に、解析できるように研究を しています。



[事例紹介]

地産地消の分析においては、横浜市のJA直売所を素材と し、「地消」の空間的分析を進めました。

また、地域からの資金流出の様子を、福岡県を素材に可 視化した図からは、域外のなかでも、首都圏との結びつきも 強い点が浮かび上がります。



■ 相談に応じられるテーマ

地域の農業振興のための基礎調査 地域の経済循環構造を明らかにするための基礎調査

■ 主な所属学会

日本農業経済学会 日本地域経済学会 政治経済学•経済史学会

■ 主な論文

「ローカルフードシステムによる地域経済循環の効果分析」『農 業・農協問題研』第59号, 24-40ページ, 2016.

「食料品のアクセス改善におけて:事前復興としてのフードオア シス」『県民総力戦で創る事前復興計画』、125-133ページ、2015、

■ 主な著書

『国際機関の政治経済学』京都大学学術出版会,2014.

「開発援助政策を考える:誰のための開発援助か?」岡田知弘・岩 佐和幸編『入門現代日本の経済政策』法律文化社, 2016.

■ 主な地域活動

箱根町行財政運営を考える町民会議アドバイザー(箱根町) 箱根町行財政改革有識者会議委員(箱根町)